



様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの機器整備件数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	0	18	15	0	0	0	100.0%	0	順調	研究機器は高額である為、機器利用者のニーズ把握及び更なる必要性の検証を行った。
活動指標名	—				H29年度					
実績値										
活動指標名	—				H29年度					
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果 今年度は、研究機器の整備は未着手であったが、研究機器の更新整備を行うことにより、企業誘致及びそれに伴う知的・産業クラスターの形成の促進が期待できる。
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度 of 取組改善案						反映状況				
①入居企業、外部利用者及び新たに誘致する企業のニーズも考慮し、企業の研究内容が効果的、効率的に行えるような性能のよい機器整備について検討し、知的・産業クラスターの形成に取り組む。						①ニーズの把握は随時行っているが、研究機器が高額である為、購入については、耐用年数等を考慮しつつ検討する必要がある。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・研究機器自体が高額であり、企業ニーズが多様で変化することから、機器の選定に苦慮している。

#### ○外部環境の変化

・入居者のニーズに加え、今後のニーズの変化も視野に入れインキュベート施設として整備すべき機器について検討する必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・バイオベンチャーは、様々な研究を行っており、研究機器についても、その研究内容によって異なってくるため、共用機器として汎用性が高いものについて、入居企業以外の外部利用者からのニーズの把握も行う必要がある。

・入居者アンケートやバイオ関連企業へのヒアリング等を行い、ニーズを把握すると共に、専門家等の意見を聞き、性能及び汎用性の高い機器の選定を行う。

### 4 取組の改善案(Action)

・研究機器は高額である為、入居企業やセンターの外部利用者を始めとしたバイオ関連企業のニーズや専門家等の意見を聞きながら、機器の整備を行う。